

BRAHMS THE STRING QUINTETS Op.88 & 111

Transcription for piano 4 hands by the composer

Toshihiro
Kaneshige

Caspar
Frantz

2025年10月25日（土）15時開演

参音堂 全席自由5000円

プロフィール

カスパー・フランツ

カスパー・フランツはソリスト・室内楽奏者・歌曲伴奏者として、シュレスビヒ・ホルシュタイン音楽祭、メッケルベルク=フオボンメルン音楽祭、モントルー音楽祭、シュヴェツィンゲン音楽祭、ブラジャリア音楽祭、メニューイン音楽祭などの数々の著名な音楽祭、また、ハンブルク・エルベフィルハーモニー、カドガンホール、コンツェルトハウス・ベルリン、ゲヴァントハウス・ライプツィヒなどの主要なコンサートホールに招かれている。

室内楽奏者として、数々の世界的音楽家からの信頼が厚く、アンティエ・ヴァイトハース (Vn)、ザビーネ・マイヤー (Cl)、フォグラー=弦楽四重奏団、アルデオ四重奏団、アンナ・プロハスカ (ソプラノ)、プリン・ターフェル (バリトン) などと共演を重ねている。また、チェリストのユリアン・アルプとは、“Duo Arp/Frantz”として20年以上デュオを組み、数々の国際的な賞を受賞し、世界各地で演奏し活動を行っている。

これまでにソリストとして、ライプツィヒ・中部放送交響楽団、ポツダム室内管弦楽団、ドイツ連邦青少年管弦楽団などと共演した他、「シューマン後期作品集」、「バッハ フランス組曲全集」、「ハイドンピアノ協奏曲集」などのCDをリリースし、いずれも高い評価を受けている。

ロストック音楽演劇大学にてマティアス・キルシュネライト、ハンスアイスラー音楽大学にてエーベルハルト・フェルツに師事。また、エリーザベト・レオンスカヤ、フレンツ・ラドシュ、クリストフ・エッジエンバッハ、ジュルジュ・クルターク夫妻の薫陶を受ける。

2016年よりライプツィヒ音楽演劇大学教授に就任。

2022年にはバッハ国際コンクール (ライプツィヒ) にて審査員を務めた。

<http://www.casparfrantz.com/>

兼重稔宏

兼重稔宏はソリスト、室内楽奏者として、ボローニャ音楽祭、ブダペストの春音楽祭、シュターツカペレ・ドレスデン 475 周年記念週間、メクレンブルク=フオボンメルン音楽祭、

ヒューストンパッサハ週間、エンガディン音楽祭、クララ・シュマン生誕 200 周年記念音楽祭、アルデンブルク音楽祭、トッパンホール・シーズンオーブニングコンサート、東京・春・音楽祭などの音楽祭・演奏会に出演した他、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス大ホール、ゼンパー・オーパー (ドレスデン)、ヴィガドー (ブダペスト)、コロッセオ (ポルト) などヨーロッパの主要なコンサートホールにて演奏している。

2022 年に Virtus Classics より「ディアベッリ変奏曲」をリリースし、高い評価を受ける。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を卒業。2012 年に渡独し、ライプツィヒ音楽演劇大学修士課程及び演奏家課程を最高点にて修了。在学中より同大学副学長であるゲラルド・ファウト氏の助手を務める。

歌曲伴奏をアレクサンダー・シュマルツ氏に師事。また、上野真、エリザベト・レオンスカヤ、故メナヘム・プレスラーの各氏に薫陶を受ける。

ライプツィヒ音大修了後はライプツィヒ音楽演劇大学ピアノ科及びライプツィヒゲヴァントハウス管弦楽団オーケストラアカデミーにて、2020 年の帰国後は東京芸術大学、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学などにて後進の指導に当たる。ゼフィルス・ピアノ五重奏団メンバー。ペーゼンドルファーアーティスト。

<https://t-kaneshige.com/>

<演奏曲目>

ヨハネス・ブラームス

弦楽五重奏曲 第1番 ヘ長調 作品 88

弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 作品 111

(作曲者による4手連弾編曲版)

2025 年 10 月 25 日 (土) 15 時開演 (14 時 30 分開場)

会場 / 参音堂 (田園都市線桜新町駅より徒歩 5 分)

全席自由 5000 円 (事前予約制)

※会場は個人宅のため、ご来場いただける方に後日住所をお知らせいたします。

※上記の理由により参音堂内部の撮影や、SNS への投稿はご遠慮いただけますよう、お願い申し上げます。

《お問い合わせ & お申し込み》

office.rsvg@gmail.com